

令和3年度 愛知県特定健診・保健指導研修会（事業運営編）

研修実施報告

1. 日程・内容等について

【目的及び趣旨】

特定健診・特定保健指導の企画運営、指導者のリーダー的立場にある者が、健康課題に基づいた効果的な事業計画（評価を含む）を立案でき、円滑に進めるためのマネジメント能力を身につけることを目的とする。

【日時】

令和3年12月8日（水）午前10時30分から午後4時30分まで

【対象者】

愛知県内で特定健診・保健指導の事業運営に携わっている（1）～（3）の方

- （1）保健指導受託機関等の特定保健指導事業の企画・運営者（事務職等）
- （2）市町村・事業所等の医療保険者
- （3）特定保健指導チームのリーダー的立場にある専門職

【方法】

web会議システム（Webex）を利用したライブ配信型研修とする。

【カリキュラム】

時間	内容	ねらい	リーダー	運営責任者
研修会前 (45分)	研修課題 現在の保健指導の取り組みや課題の事前まとめ (ワークシート2の該当部分) ※1	特定保健指導事業における現在の取り組みや、データヘルス計画や過去の事業評価をもとに、課題を把握し整理する。	◎	◎
10:00	受付			
10:30	オリエンテーション			
10:40 (40分+ワーク5分)	講義 「健康課題の把握とデータを活用した保健事業の実施について」 人間環境大学大学院看護学研究科 地域看護学 教授 巽 あさみ 国立大学法人浜松医科大学名誉教授 巽 あさみ	データの分析方法と正しい解釈のポイントを学び、保健事業全体における特定保健指導の位置づけを理解する。	◎	◎
11:25 (30分+ワーク5分)	講義 「特定健診・特定保健指導における効果的な事業運営と評価に向けて」 あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部 指導者養成課 課長 柴口 由香里	特定健診・特定保健指導を効果的に実施するために、基本的な考え方や意義を理解する。また、PDCAサイクルに沿った事業運営・評価について学ぶ。	○	◎
12:00	昼休憩 (60分)			
13:00 (25分+ワーク5分)	事例紹介 「特定保健指導実施率向上への挑戦」 長久手市福祉部保険医療課国保年金係 係長 浜田 のぞみ			
13:30 (25分+ワーク5分)	事例紹介 「特定保健指導実施率向上の取り組み」 豊田合成健康保険組合 保健師 小澤 香織	市町村国保、健康保険組合、保健指導機関のそれぞれの立場における特定保健指導実施率向上のための取り組みを知る。医師会や委託機関との連携、ソールの活用等について学び、今後の体制づくりに役立てる。	○	◎
14:00 (25分+ワーク5分)	事例紹介 「医療保険者と連携した保健指導機関での取り組み」 医療法人豊田会刈谷豊田総合病院 健診センター 保健師 坂田 知嘉子			
14:30	10分休憩			
14:40 (70分)	グループディスカッション 「研修を通じてヒントとなったこと」	講義、事例紹介から得たヒントをもとに、保健事業対策を検討する。	◎	◎
15:50 (30分)	発表・研修会のまとめ	全体で意見を共有し、自機関での保健事業に役立てる。	◎	◎
16:20	アンケート記入、事務連絡			
16:30	終了			
研修会後 (45分)	演習まとめ 本研修会をうけて課題、取り組み、改善策についてまとめる (ワークシート各種) ※2	各講義や事例紹介、グループディスカッションにて共有した情報をもとに、特定保健指導事業の評価をし、次年度に向けた改善策を考える。	◎	◎

本年度は「特定健診・特定保健指導を円滑に進めるための事業運営・評価について考える」をテーマに5人の講師に講義や事例紹介をしていただきました。また、グループディスカッションを行いました。

● 「健康課題の把握とデータを活用した
保健事業の実施について」

人間環境大学大学院看護学研究科地域看護学の異教授より、データの正しい分析・解釈方法、ツールの紹介、愛知県特定健診の分析結果についてご講義いただきました。健康課題を把握し、保健事業全体における特定保健指導の位置づけや事業における自身の役割を再認識することの重要性を学びました。



● 「特定健診・特定保健指導における
効果的な事業運営と評価に向けて」

当センターの栄口より、特定健診・特定保健指導の基本的な考え方や実施の意義、新しい生活様式に合わせつつ、PDCA サイクルに沿った効果的な事業運営・評価方法について具体的な例を紹介しました。



● 「特定保健指導実施率向上への挑戦」

長久手市福祉部保険医療課国保年金係 係長の浜田様より、実施率向上のための解決策として初回分割実施や、オンライン保健指導、中間健診等の取り組みについてご紹介いただきました。課題点を明確にして次年度へつなげるというPDCA サイクルの重要性を学びました。



● 「特定保健指導の実施率向上にむけた取り組み」

豊田合成健康保険組合 保健師の小澤様より、被扶養者の健診受診率向上や、保健指導実施率向上のための工夫についてご紹介いただき、課題ごとに取り組みの重点を考え、実施・評価することが重要であることを学びました。



● 「医療保険者と連携した保健指導機関での取り組み」

医療法人豊田会刈谷豊田総合病院健診センター 保健師の坂田様より、特定保健指導を受けてもらうための工夫、医療保険者との連携方法等についてご紹介いただきました。多職種連携や医療保険者と綿密な調整をする等、積極的な働きかけが重要であることを学びました。



● 事前課題、ワークシート

研修参加前に、ワークシート2「特定保健指導事業における現在の取り組みや課題」を記入した上で、参加いただきました。各講義受講後は5分間のワークシート1記入時間を設け、講義を聞いて気づいたことや今後取り入れたいことを整理し、グループディスカッションで活用いただきました。

ワークシート1 (各講義・事例紹介のまとめ)

No.	気づいたこと (課題)	取り入れたいこと (改善策)
1	「健康保険者の立場とターゲット特性」を保健指導の実態に併せて	
2	「特定保健指導・特定保健指導における効果的な事業運営と評価に向けて」	
3	「特定保健指導実施意向への説明」	
4	「特定保健指導実施意向への説明」	
5	「医療機関と連携した保健指導機関での取り組み」	

各講義を聞いて
気づきや改善策を
整理

ワークシート2 (質問まとめ)

研修参加前に
事業の課題を記入

研修受講後
気づきや感想を記入

● グループディスカッション

1グループ5~6人、計10グループに分かれてグループディスカッションをしました。行政機関、企業、健康保険組合、医療機関等の様々な立場の方と交流ができるよう構成しました。グループ内で特定健診保健指導における現在の課題を共有し、その中から深堀したい課題を決定、その課題を改善するための工夫や効果的なアプリや指導教材、事業評価すべきこと等について検討していただきました。

グループディスカッションシート ※このシートは、個人のメモ用紙です

<p style="text-align: center;">＜特定保健指導事業における現在の課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40歳代の健診受診率が低い ・被扶養者の健診受診率が低い ・集団の健診会場の確保が難しい ・健診当日に特定保健指導初回面談できるようにしたいがやり方わからない ・対象者の年代に合わせて、保健指導を受けたいような動機をしたい 	<p style="text-align: center;">＜課題を改善させるための工夫＞</p> <p style="text-align: center;">これを解決するために、どんな工夫ができるか？</p>
<p style="text-align: center;">＜効果的なアプリや指導教材＞</p> <p style="text-align: center;">対象者の理解ややる気を促すために、どんなツールがあるかな？ 教材があるかな？</p>	<p style="text-align: center;">＜事業評価すべきこと＞</p> <p style="text-align: center;">効果をどうやって評価するか どんな評価指標が必要か</p>



グループで話し合ったことを全体で共有

2. 申込について

【申込者数】 69名（男：11名、女：58名）

【所属別】

保健所	市町村	企業	健康保険組合	医療機関	保健指導機関	その他	合計
3名	16名	16名	14名	7名	9名	4名	69名

【職種別】

医師	保健師	管理栄養士	管理者	事務職員	その他	合計
1名	44名	10名	4名	8名	2名	69名

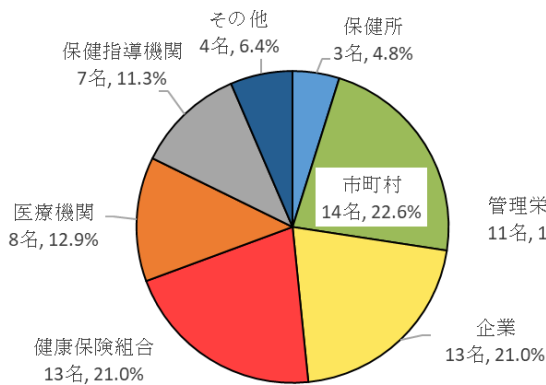
【経験年数別】

無し	1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10年以上	経験有無未回答	合計
29名	2名	25名	4名	1名	7名	1名	69名

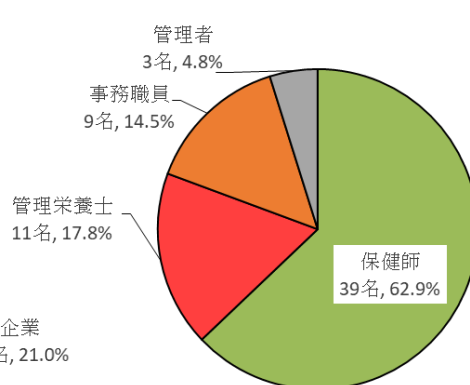
3. アンケート結果について

【回収状況】 受講者 65名のうち 62名から回収（回収率 95.4%）

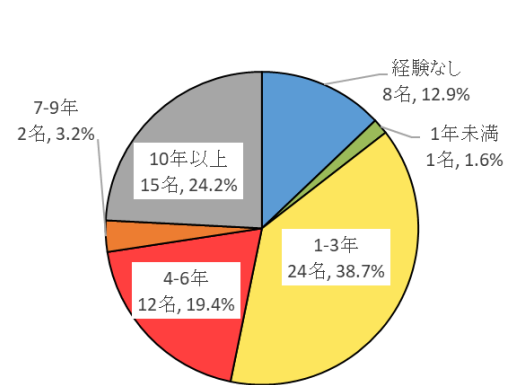
（1）回答者の所属



（2）職種

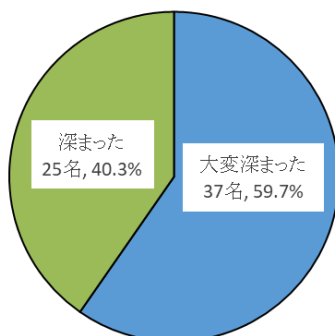


（3）経験年数

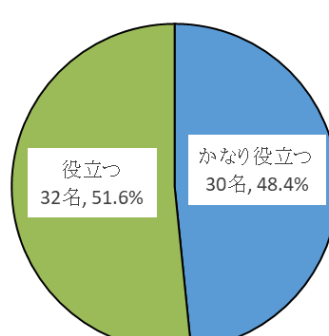


【質問項目のまとめ】

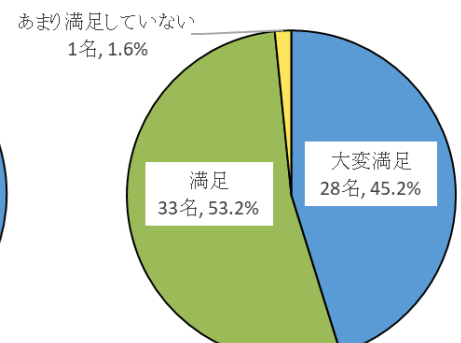
（1）知識の深まり



（2）役立ち度



（3）満足度



(4) 受講者の感想（自由記載から一部抜粋）

<研修全体について>

- ・統計情報の集め方、最新情報を知り、知識を深めることができ良かった。
- ・母集団の健康課題を明確にするため、データを経年的に分析したり、他の自治体等と比較することの重要性を認識できた。
- ・事業評価について直ぐに活用できる資料も提示していただき、大変参考になった。
- ・データを活用した保健事業の計画から、実施・取り組む上での問題点、改善点など事例があり、とても勉強になった。
- ・国保保険者、健康保険組合、医療機関それぞれの立場での困りごとや考えが分かり、今後はお互いに協力して実施できることを見つけることができた。
- ・グループディスカッションにおいて、様々な所属の方からお話を伺えて視野が広がった。
- ・国保保険者の立場としては、被用者保険でどのような保健指導が行われているかを知ること、国保へ新規介入した方への対応に役立つと思った。
- ・意見交換の際、従来のやり方にとらわれず、何かできることはないか？と前向きな気持ちで取り組んでいる方が多く、刺激を受けた。
- ・具体的事例や評価に関する講義の後に、グループディスカッションがあり、話し合いがしやすかった。

<web 研修に参加して>

- ・様々な取り組み事例を聞いたため、今回の講義＋グループディスカッションの方法は良かった。
- ・直接ディスカッションできる機会があり、非常に刺激的で有意義に感じた。
- ・特にグループディスカッション発表の時の雰囲気が明るく、聴きやすかった。

<次回研修会の要望>

- ・分析したデータの効果的な使い方や伝え方について
- ・実際の取り組み事例
- ・特定健診の実施率向上について
- ・健診結果改善により特定保健指導対象者を減らすための取り組みについて
- ・初回分割実施について
- ・効果的なアプリや指導教材について
- ・事業評価の部分について
- ・他の機関の方と話す機会をまた設けて欲しい